

## New!! 四万十ブランド認証事業

四万十川流域の人たちが、流域内のものを使って、四万十川に配慮しながら作った商品を応援しようという「四万十ブランド認証事業」。今年度、当財団はこの事業について大きく方向転換を行った。以前は収益事業という位置づけで、ブランドマークを使用する対価として“使用料”を頂戴していたが、今年度からは公益目的事業に変更を行い、対価としての使用量は頂かないこととした。これにより、当事業に参加しやすい仕組みをつくり、より多くの生産者と消費者に四万十川に目を向けてもらうことで保全と振興に繋げていこうという狙いだ。暮らして川が深く関わり合う四万十では、継続的に豊かな自然の恩恵を受けられるよう環境に配慮して生産を行わなければならない、またそうすることで四万十の生業が成立するという循環が必要である。

正直なところまだまだ未熟な事業ではあるが、この循環を拡大するためにも四万十ブランドが一層価値あるものになるよう、清流通信の読者の皆様にもいろいろと知恵をお借りしながら、また四万十ブランドにふさわしい商品があれば是非教えて頂きながら、四万十の生業を応援していきたいと考えている。



## New!! 四万十ブランド認証商品 ~JA 四万十厳選にこまる~

そして先日、四万十ブランドに新たな仲間が増えた。これから四万十川をともに応援してくれるのは、JA 四万十に井田米の中でもトップクラスの品質を誇るお米「JA 四万十厳選にこまる」だ。

仁井田米と言えば、昼夜の寒暖差が大きく濃霧地帯という栽培に適した条件で育てられ県内では名の通った優良なお米である。その中でもJA 四万十は“栽培時の高温障害を受けにくく高品質・良食味”という特性を持った品種「にこまる」を独自の栽培基準で栽培したお米が「JA 四万十厳選にこまる」である。

首都圏を中心とした県外販売を狙っており、お米と一緒に四万十川のPRをしたいという思いから、今回四万十ブランドに手を挙げてくれた。

## JA 四万十厳選にこまる 環境保全への取り組み

「JA 四万十厳選にこまる」栽培に関しては、特別栽培農産物（高知県慣行農業基準5割減の農薬・化学肥料での栽培）に取り組んでいる。また、種子の温湯消毒を行い農薬の使用回数の減少やJA 四万十が販売している肥料である“仁井田郷口マン伝説”は被覆樹脂が残らないタイプで環境にも配慮した肥料の使用を行っている。またその売り上げ1袋につき20円を四万十川の環境保全に役立ててほしいと過去、当財団に寄付していただいた経緯もある。

米作りの作業で代掻きという作業があり、その際に田からあふれた濁水が川に流れ込んでしまい、四万十川が濁ることがある。農業を営むうえでは仕方のないことではあるが、JA 四万十ではなるべく濁水を流さないようにと町役場等と協力して“浅水代掻き”の推進に取り組んでいる。濁水流出防止を宣言する止水版やその使用方法を説明したパンフレットを作成し、農家さんに配布している。

「JA 四万十厳選にこまる」は、自然を中心としたお米作りをすることで、その名の通り自然にも消費者にも“にこっ”とはにかむ笑顔を届け、質の高さでは“まる”をもらえるそんな商品なのである。



【排水口用止水版】繰り返し使用できます

## ●七里小学校で四万十川についての授業を行いました！

先日、四万十町七里小学校の4年生と四万十川について学習を行いました！2時間の内、1時間は事務局長の神田が四万十川の概要について、1時間は武市が水生生物の調査方法について授業を実施しました。

四万十川の概要では、四万十川がどこの市町を流れているか、どこから始まってどこで海にそそぐのか、長さは何キロあるのか、どんな生物が住んでいるのか等をクイズ形式で学習。子ども達は事前に調べたことを紙にまとめていたようで、それをチラチラ見ている参考しながら大盛り上がりで学習することが出来ました。

水生生物の調査方法については、調査の目的と方法を学習。まず、写真を比較しながら、ゴミがないことや水が透き通っているなどの“見た目”だけでは川がきれいかどうかは判断しがたいことを子ども達と共有しました。その後、水質について理由をもって説明するためには、パックテストや清流度調査等のいくつかの方法があるが、今回は水生生物の調査を実際にやってみるということでその方法を指導。きれいな水が好きな川虫や汚れた水でも生きていける川虫がいることを水質の判断基準にすること、また石をはぐって川虫を採取する等の具体的な方法を学習し、今週5月28日（木）に実際に川に行って調査を行うことになっています。できれば複数地点の調査を行うことで比較を行いたいと考えています。調査はもちろんですが、川に行けるという事だけでも大はしゃぎな子ども達の姿を見て、子ども達のこういう気持ちが将来四万十川を守ってくれる原点になるのだと、とても嬉しく感じました。

さて、四万十川財団ではこのような水質調査や授業等、四万十川の学習に関するお手伝いを積極的に行っていきたいと考えています。講師料も不要ですし、当財団の所有する備品も利用していただくことが出来ます！また併せて川遊びの安全講習として、今年度は着衣水泳の指導に日赤や消防と連携して取り組んでいく方針です。将来四万十川を守ってくれる子ども達を育てるために、安全に川で遊ぶために、私たちにできることがあればまずは相談からでもお気軽にお声掛けくださいね！



## ●イベント案内

### 森と水辺の親子エコスクール（バードウォッチング入門）

四万十町大正地区のウォーキングトレイル（下道～下津井）を歩きます。

早朝のさわやかな空気を味わいながら、ヤイロチョウの声に耳を傾けてみませんか？

滅多に聞けないヤイロチョウの貴重な鳴き声も、シーズンの今なら聞けるかも！？

前泊をご希望される方はお気軽にご相談ください！

- 日 時 6月7日（日）5：00～11：00
- 対 象 小学生～一般（小学生以下は保護者同伴）
- 募集人数 15名（先着順）
- 参加費 1人100円（保険料含む）、別途入館募金300円
- 集合場所 四万十ヤイロチョウの森ネイチャーセンター
- 締め切り 6月2日
- お問い合わせ

公益社団法人生態系トラスト協会ネイチャーセンター（担当 山崎拓人）

〒786-0301 高知県高岡郡四万十町大正 31-1

直通IP電話：050-8800-2816

<http://wwwd.pikara.ne.jp/ecotrust/nature/>

